

はじめに

今回、昭和 48 年の第 1 回調査から数えて 26 回目の「市政世論調査」を実施させていただきました。

この調査は、市のさまざまな施策について、市民の皆さまからご意見をお聞きし、その結果を今後の市政運営に反映させ、魅力と活力のあるまちづくりを進めるため実施しております。

近年は、新型コロナウイルスの数回にわたる感染拡大と、それに伴い発出された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、市民の皆さまの生活に多大な影響を及ぼすこととなりました。大きく変わる社会経済環境の中、本市におきましては、ワクワクいなざわ応援券の発行のほか、商工会議所・商工会と連携し、創業者の支援、農業者を含む事業者の新規事業展開などの相談窓口として、創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」を開設するなど、ウィズコロナ・アフターコロナ社会を見据えた地域経済の活性化に向けて取り組んでおります。

また、ICT 技術やデータを活用した市民サービスや業務効率の向上に向け、申請書等の作成サポート「書かない窓口」の設置や、キャッシュレス決済の拡充、電子図書館の開設など、非接触対応を可能にするデジタル化を進めております。

本調査におきましても、今回よりインターネット回答を導入し、回答に係る負担を軽減するとともに、より多くのご意見を集約できたものと考えております。

長引くコロナ禍により先の見通しが非常に困難な状況ではありますが、社会情勢の変化に柔軟に対応し、市民の皆さまとともに、持続可能で新たな魅力ある稲沢市を目指してまいります。今後とも稲沢市の発展のため、市政に一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

最後に、ご多用の中、本調査にあたりご協力いただきました多くの市民の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

令和 4 年 11 月

稲 沢 市